

第3回米沢市水道事業等運営審議会 報告

第3回米沢市水道事業等運営審議会を開催したので、報告します。

1 日時 平成30年8月27日（月）11：00～

2 場所 上下水道部庁舎 会議室

3 出席委員

石塚久子委員、遠藤昌敏委員、黄木義久委員、小林秀一委員、佐藤康子委員、長澤文紀委員、宮川英子委員 以上7名（欠席1名 中村和則委員）

事務局

上下水道部長、水道業務課長、水道業務課長補佐兼総務係長、経営企画係長、水道施設課長、水道施設課長補佐、副主幹兼施設係長、工務係長、給水装置係長、経営企画係主任

4 会議録（進行：水道業務課長補佐）

・上下水道部長からダムの貯水率の状況や渇水対策について報告を行った。

(1) 会長あいさつ

みなさんおはようございます。審議会も第3回ということで、大詰めにきております。御協力よろしく申し上げます。今部長からも報告がありましたが、私も雨の様子が気になってホームページ等見ております。節水の広報車も回っていますので、ダムの水が足りないのは何となく分かるのですが、もし無くなってしまったらどうなるのかが市民に伝わっているのかな、と思います。雨音にも敏感になっていまして、これほど水道について気になるのは久々のことだな、と思います。では、本日も御審議をよろしく申し上げます。

(2) 諮問事項の審議（議長：会長）

①答申（案）について

・水道業務課鈴木：資料に基づき説明

会 長：只今の説明に対して、御意見等はございませんか。

会 長：前回（平成25年度）の答申内容にも沿っていて、かつコンパクトにまとまっている感じですが、比較をするために前回の答申書の写しを委員の皆さんにお配りできますか。

・前回答申書の写しを配布。

委 員：第2回で審議した内容がほぼ書かれている内容なので、良いと思います。

委 員：今回は、他市との比較については文章に入れないのですか。

事務局：今回は小口径の 10 m³使用の水道料金が、県内他市（山形、鶴岡、酒田）と比較して本市が高く、そこを低く抑えるべきとの答申をいただき、従量料金の値下げを行ったため、答申書に文章を入れました。今回は、受水費値下げ分を口径に関わらず広く還元しようとする内容です。資料を見ていただくと口径 13 mm の 10 m³使用では他 12 市平均よりは低いですが、山形、酒田、鶴岡よりは高いです。今回はこの部分の格差を抑える改定を行いました。現在は口径 20 mm が一番件数が多くなっており、本市は低い水準です。

会 長：かえって、本市は料金を下げすぎではないか、下げる必要があるのか、と議会等から言われませんか。市全体では、いくらでも収入を確保しようという動きだと思いますが。

委 員：今までの審議の経過で、資産維持率を 2.0 % と設定すれば水道事業経営が存続できると判断したわけなので、それに関しては妥当な値下げ率といえるのではないのでしょうか。受水費値下げ分を還元しようということ。

委 員：答申案の（２）下から 6 行目「水道事業における生活水の低廉な確保」とありますが、今回は生活水に限らず値下げなので「水道水の低廉な確保」という言い方がいいのではないのでしょうか。

会 長：他に意見ございますか。無いようでしたら、今委員からありました件について、私に一任という事で事務局と文章を調整させていただきたくということよろしいでしょうか。

会 長：審議は以上になります。御協力ありがとうございました。

（３）その他

答申は 9 月中旬に市長室で行い、遠藤会長から市長に答申書をお渡しする形で行いたい。事務局で日程調整し、日時を決定する。遠藤会長、黄木副会長には答申日にお越しいただきたい。

《終了 11 : 45》

以上